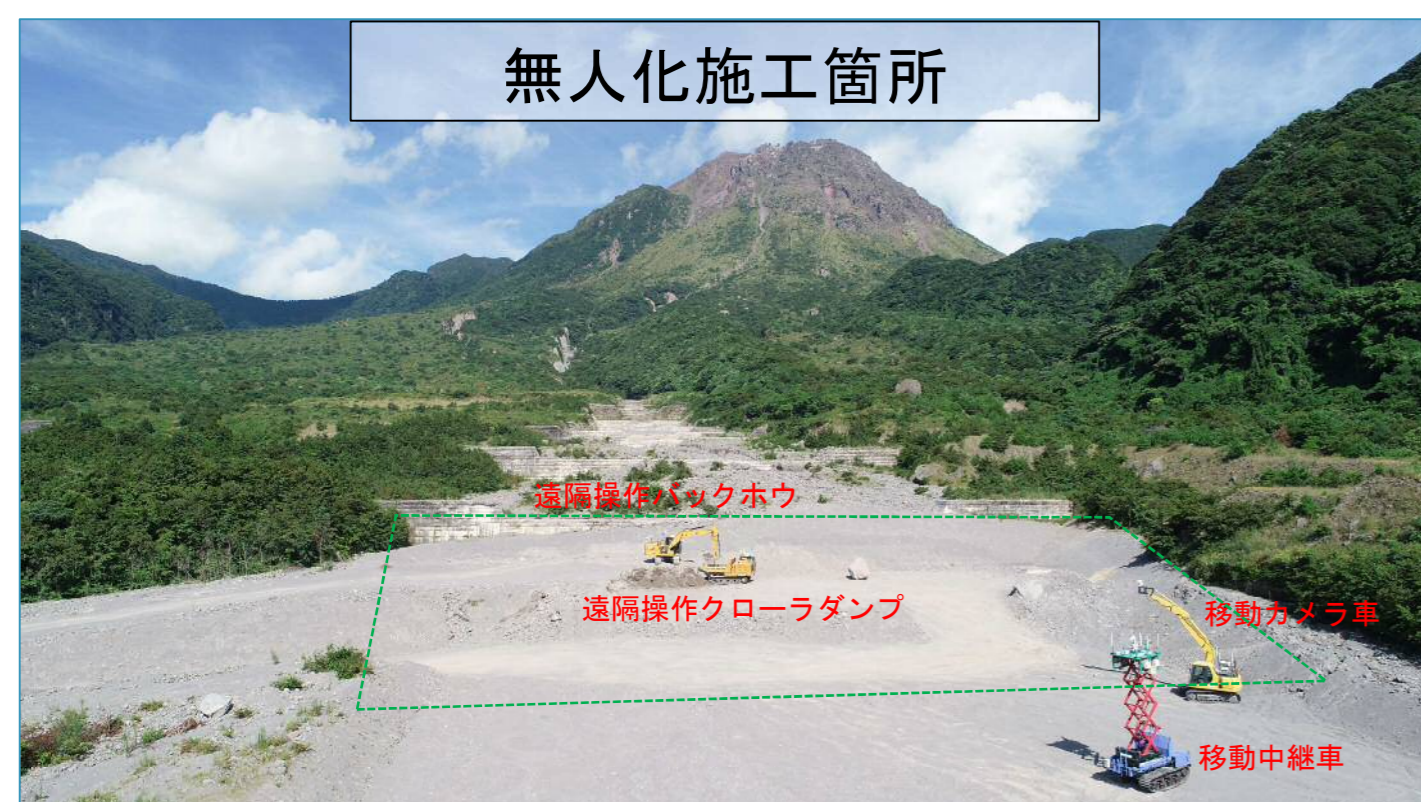


# 地元企業による無人化施工の取り組み

## 私たちの取り組み

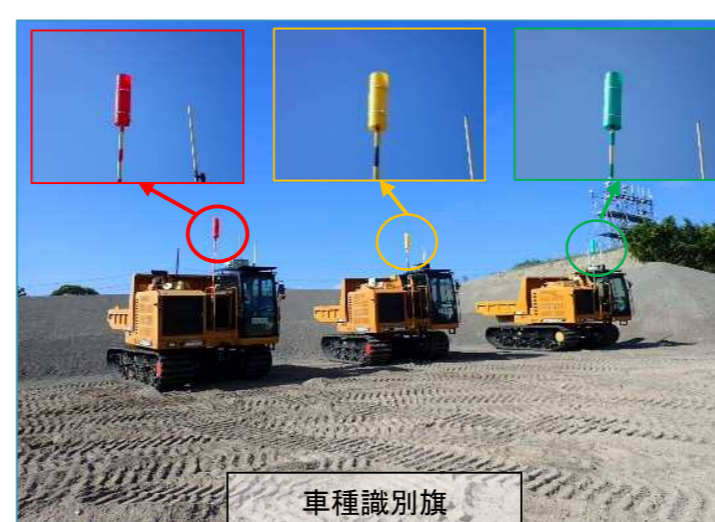
これまで大手ゼネコンが実施してきた無人化施工による除石工事を、地元企業で一般的に普及している重機(バックホウ0.8m3級及び不整地運搬車(クローラダンプ)10t積級)を使用し、除石工事(25,000m<sup>3</sup>)を実施し技術力や経験を蓄積した。



☑ 災害や有事の際に迅速に対応できる技術を得る。

### 施工時の工夫

従来、クローラダンプ走行時の操作は周辺カメラ車の映像のみで行っていたが、クローラダンプ各車に前方・側方確認用の車載カメラを設置、操作室内にモニターを増設した。また、モニター上で車種の識別が確実にできるように、識別旗を設置した。



☑ 通行路からの逸脱、重機同士の接触防止で安全性の向上。

### 地域とのかかわり

地域の児童や園児に防災・減災工事の大切さを感じてくれることを目的として、無人化施工の機械操作体験などの現場見学会を実施し、6団体・137人の方々に参加頂いた。私たちは常に地域に密着し、地域の人々が安心して暮らせる街づくりを目指し、今後も地域に貢献して行きたいと考えている。

- ラジコンみたいで楽しかった。
- 初めて砂防施設を見て大きくてびっくりした。
- 自分の家を守ってくれていることがわかった。

☑ 地域の方々とふれあうことで砂防工事の理解を深められ、建設業の魅力を感じていただけるいい機会となる。

